

(2) 日の出町の地域特性 (強み・弱み)

①日の出町の立地

日の出町は東京都の西部に位置しており、東西に長い地形ながらも山間地域を除くと居住地は集約されており、まちづくりがしやすいコンパクトなまちです。

一方で、町内東部には首都圏中央連絡自動車道のインターチェンジが開通していますが、鉄道の駅がなく、公共交通機関の利便性向上が求められます。

②居住環境・人口

児童1人当たりの保育園・幼稚園の数は他自治体と比較して多く、待機児童が発生していません。また、戸建て世帯の多さや車の保有率の高さなどから、日の出町に定住する人も多く、1軒当たりの住宅面積は東京都内でもトップクラスです。

町内に大学がなく、雇用の場も限られているため、進学や就職を機に、若年層が転出し、それに伴い出生率の低下や少子高齢化が進み、人口減少の傾向にあります。

③豊かな自然

西部の丘陵地は秩父多摩甲斐国立公園区域に指定され、優れた景観・景勝地として、日の出山や麻生山等があります。また、ひので野鳥の森自然公園や平井川の水辺環境など、東京にありながら豊かな自然環境に恵まれています。

④産業・観光

豊かな森林資源を持ちながらも、林業従事者の高齢化や後継者不足が深刻化しています。農業でも担い手不足に加え、有害鳥獣による被害などの課題を抱えています。

つつる温泉や大型商業施設が町民の生活や娯楽の場であるほか、日の出山やひので野鳥の森自然公園、鹿野大佛、伝統のお祭りなどの観光資源を有する一方で、飲食店や宿泊施設が不足しており、観光客を獲得できていない現状があります。町内にあるつつる温泉や大型商業施設が町民にとって生活や娯楽の場になっています。つつる温泉は、町民の生活にとって大切であるだけでなく、観光資源としての側面を併せ持っています。

日の出山やひので野鳥の森自然公園、鹿野大佛、地域で守られてきたお祭りなど、町内に観光資源はある一方で、飲食店や宿泊施設が不足しているため、観光客の誘致にはつながっていない現状があります。

コメントの追加 農林業に関する記載を加筆修正しました。

重点目標3 新しいひとの流れをつくる

人口減少そのものを抑えることは、極めて重要な課題であることから、都市部から本町へのU・Iターンの流れを見据えながら、移住・定住促進施策をさらに充実します。

加えて、継続的に本町に関心を寄せつながりを持つ「関係人口」の輪を広げることで、多様な地域課題の解決などにつなげていきます。

指標名	現状値	目標値(R11)
移住・定住の相談件数	6件	30件
ふるさと納税寄附者数	11件	1,000件 100件

コメントの追加 修正しました。

重点目標4 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなど新技術の徹底活用

GX・DXは、地域の生活環境を改善するポテンシャルを秘めた新しい技術であり、日の出町の地域経済や地域社会にも適応させていくことが求められています。

また、最先端の技術を用いて誰もが豊かに暮らせる社会(Society5.0)の実現に向け、AIを始めとした様々なデジタル・新技術を徹底的に活用し、地方創生の推進を図ります。

指標名	現状値	目標値(R11)
エコ住宅促進機器設置補助住宅累計数	392件	500件
日の出町DX推進方針の目標達成率	50%	100%

重点目標5 広域連携による課題解決

人々の活動や生活は、市町村域に限定されるものではなく、特に人口減少が進む中においては、住民ニーズや行政課題を近隣市町村等と共有し、連携して対応することが重要です。

広域的なプロジェクトが効果的に行われるような枠組みを整えた上で、共同事業や広域連携により、産業振興、観光政策、インフラ整備等の取組を進めます。

指標名	現状値	目標値(R11)
広域連携事業数	8件	11件
あきる野市・日の出町新学校給食センター建設	0%	100%

基本目標1 こどもが夢や希望を持って健やかに育つまち【こども・教育】

1-1 切れ目のない子育て支援【施策01】

目標とする姿

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援により、子育て家庭が安心してこどもを産み育てることができる町になっています。

現状と課題、将来起こりうる課題

少子化、核家族化の進行や就労形態が多様化する中、妊娠から出産、乳幼児期から保育施設等への入所、就学など、こどもとその家族のライフステージに応じた切れ目のない支援体制を構築する必要があります。

また、隣近所や地域のコミュニティの希薄化による「地域によるこどもの見守り」が少なくなることで、日常的に孤立感や負担感を抱えながら子育てを行う家庭も少なくありません。

さらに、子育て家庭が抱える問題はより多様化、深刻化しています。育児不安や負担感の高まりによる児童虐待や学校の生活指導上の諸課題は、こどもの心身の成長に影響を及ぼすおそれがあるため、保護者が孤立せず、気軽に相談できる環境を整える必要があります。

施策展開

・切れ目のない支援体制の充実

若い世代が安心して妊娠・出産し、子育てができるよう、不妊治療費助成をはじめ子育て世代への経済的支援を情勢に合わせて情勢に合った経済的支援を継続するとともに、保健・福祉・教育等の各機関、また地域との横断的な連携により、各成長段階における支援をつなぎ、こどもの心身の成長と、こどもと子育て家庭のニーズに応える事業の展開を図っていきます。

・子育てしやすい地域づくり

妊産婦やこどもの健康診査のほか、産後ケアの利用や訪問指導による母子のや訪問指導による健康づくり、保育所等の受入れ体制整備や親子で参加できる事業の充実を図り、子育て支援と親子交流の場づくりを推進します。

・こどもの特性に応じた支援

就学に当たっては、こどもの特性に応じた支援を受けられる学びの場を整えるとともに、就学後のこどもの心理面・発達面についての相談体制を充実させます。

・配慮が必要なこどもや家庭への支援

児童虐待を防止するため、気軽に相談できる場や機会を増やし、また配慮が必要なこどもや家庭に対しては、関係機関や地域との連携により、予防からアフターケアまで、切れ目のない支援を実施します。

コメントの追加 不妊治療について追記しました。

コメントの追加 産後ケアについて追記しました。

主な取組

- ~~妊娠期から子育て期にわたる経済的支援~~世代の経済的負担の軽減 **重点**
- 保育サービス等の充実と質の向上
- 親子が健やかに育つための健康づくり
- 就学相談、支援教育の体制の強化
- 教育相談、適応支援の充実
- 児童虐待防止対策の充実

コメントの追加 修正しました。

成果指標

指標名	現状値	令和11年度目標値
母子相談事業参加者数（親子組数）	(R6) 93 組	120 組
集団健康診査受診率	(R6) 99%	100%
保育所等定員数	485 人	485 人
支援対象児童・生徒の支援率	(R6) 37.8%	38.0%
どこにもつながれていない不登校児童・生徒数	(R6) 1 人	0 人
児童虐待防止に係る研修会等の開催数	1 回	2 回

個別計画

- 日の出町地域福祉計画
- 日の出町子ども・子育て支援事業計画（第三期）
- 日の出町教育大綱（日の出町教育ビジョン）
- 日の出町障害者計画・第7期日の出町障害福祉計画・第3期日の出町障害児福祉計画

SDGsの視点

- 3. すべての人に健康と福祉を
- 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 16. 平和と公正をすべての人に

1-2 子育てしやすい環境の整備【施策02】

目標とする姿

子どもや子育て世帯が安心して楽しく過ごせる居場所が確保された町になっています。

現状と課題、将来起こりうる課題

近年、家庭形態が多様化しており、ひとり親家庭や多文化家庭など、多様な背景を持つ家庭が増えています。町には、学校や図書館、児童館、学童クラブなど、子どもが日中を過ごす居場所がありますが、既存の居場所の充実を図りつつ、従来の居場所では安心して過ごすことができない子どもに対して、安心して自分らしくいられる居場所づくりが求められています。

子どもが求める居場所はさまざまであることから、多様なニーズに沿った居場所づくりを進めていく必要があります。そのためには、町の未来を担う子どもが、積極的にまちづくりに参画し、自分の意見を表明し、その意見が反映される仕組みをつくっていく必要があります。

また、令和7年に開設した子ども家庭センターでは、親子で気軽に立ち寄ることができる事業の実施を新たに展開しています。今後は、より身近に親しまれる施設として、環境を整えていく必要があります。

施策展開

・子どもの視点に立った居場所づくり

子どもから意見を聴取する仕組みを構築し、その意見を踏まえ、子ども一人一人の多様なニーズに沿った居場所づくりを進めていきます。

・学童保育及び児童館事業の充実

学童保育は、今後の入所者数の減少を踏まえ考慮し、小学6年生までの受入れる態勢等の構築についてを、ニーズを考慮しに応じて検討します。

~~あわせて、老朽化している学童クラブ及び児童館の利活用は、民間との連携も視野に検討を進めていきます。また、児童館の活動内容をより一層充実することで入館者数の増加を目指すとともに、児童館の地域間格差の解消に取り組みます。老朽化が進んでいる学童クラブの整備計画を立て、利活用について検討を進めていきます。また児童館も同様に老朽化が進んでいることから、整備計画を立て、活動内容の更なる充実を図りながら入館数の増加を目指します。~~

・子育て家庭の孤立化の防止

子ども家庭センターでは、令和7年度開設の子育て広場（こそだち広場）を親子が気軽に利用し、交流が図れる居場所として更なる充実と展開を図るほか、母子健康手帳アプリの運用により、情報提供や各種事業参加の利便性の向上を図り、子育て家庭の孤立化防止に努めていきます。

コメントの追加 修正しました。

・居場所づくりの推進

既存の公園の充実やインクルーシブ公園の整備など身近な遊び場となる公園の整備や、町内保育園、幼稚園と連携し、新たな子育て広場の構築など事業展開の検討を図っていきます。

主な取組

- 子どもが意見表明できる仕組みづくり
- 学童クラブ事業の充実及び運営方法の整備
- [大久野地区における児童館整備の推進](#)
- 子ども家庭センターの機能強化 **重点**
- 子どもの居場所の充実及び拡大

コメントの追加 追加しました。

成果指標

指標名	現状値	令和11年度目標値
子どもが意見表明できる仕組みの構築	—	仕組みの構築・運用開始
児童館年間利用者数	(R6) 2,073人	2,280人
こぞだち広場の参加者数(親子の組数)	—	120組
子育て広場の構築	2箇所	3箇所

個別計画

- 日の出町地域福祉計画
- 日の出町子ども・子育て支援事業計画(第三期)

SDGsの視点

- 3. すべての人に健康と福祉を
- 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 11. 住み続けられるまちづくりを

3-2 文化・スポーツの振興【施策13】

目標とする姿

スポーツを楽しむ文化に触れることで、交流が生まれ、活気のある町になっています。

現状と課題、将来起こりうる課題

町には、緑豊かな自然環境をベースに縄文時代以来の歴史文化に育まれた多様な文化遺産が引き継がれていますが、国指定の天然記念物である「幸神神社のシダレアカシデ」の樹勢が急激に衰えているなど、文化財の継承に向けた取組みを強化していく必要があります。スポーツに関しては、体育施設と学校施設を貸し出し、多くの町民に活用されています。

コメントの追加 追記しました。

これから先、町民が生涯にわたり、それぞれのライフステージに応じて文化芸術、スポーツ活動を楽しむためには、町の地域資源を有効に活用し、多様な活動の場を提供することが求められます。しかし、施設の老朽化が進んでいるため、今後利用状況やニーズを踏まえながら、施設の配置・運営について検討する必要があります。

また、各種活動を支える団体は、深刻な担い手不足となっています。そのため、子どもから高齢者まで障がいの有無等に関わらず、誰もが気軽に文化・スポーツに親しむことができるよう、それらの活動が世代を超えた交流や健康づくり・仲間づくり、次世代育成にもつながる、魅力的な文化・スポーツの居場所となる事業を展開する必要があります。

施策展開

<文化芸術>

- ・歴史や文化芸術に親しむ環境の充実

文化財は一度失うと戻らない大切な資源であり、す。多様な専門人材等を活用しながら、「幸神神社のシダレアカシデ」の後継樹育成をはじめ、文化財の価値を継承していく取組を進めていきます。また、歴史・文化を町の財産として後世に伝えていくため、史実を継承していく体制を整え、地域の「身近な文化財」や「代表的文化財」に親しむ活動を推進することで、文化財の保護・継承は、地域の歴史や伝統を未来へつなぐ重要な柱です。地域の「身近な文化財」や「代表的文化財」を活用し、郷土の歴史と生活文化に親しむ活動を推進し、地域に対する愛着や誇り、郷土愛を育みます。

コメントの追加 修正しました。

- ・施設の有効活用

文化芸術を楽しむ、活動する拠点である既存施設の有効活用を検討します。

<スポーツ>

- ・スポーツに触れる機会の充実

障がいの有無や年齢、性別などに関わらず、誰もが気軽にスポーツに触れる機会を提供します。

- ・連携によるスポーツ活動の活性化

基本目標4 豊かな自然と安全で快適な生活環境を保つまち【生活・環境・安全安心】

4-1 計画的なまちづくりの推進【施策15】

目標とする姿

今の住宅環境を良好に維持しながら、新たな市街地の形成に向け取組を進めています。

現状と課題、将来起こりうる課題

町は、昭和50年前後に大規模な住宅団地の整備や市街化区域の拡大とともに人口が増加して以降、平井地区では三吉野工業団地の整備、首都圏中央連絡自動車道日の出インターチェンジの開通や大型商業施設が進出する一方、大久野地区では日の出山や温泉施設、さかな園など、自然豊かな観光エリアが広がり、人と自然が調和し共生しています。

将来にわたって誰もが快適に住み続けることができるよう、現状の住宅環境を良好に維持しながら、計画的な市街化を図る必要がある区域については、市街化区域への編入も検討していく必要があります。

また、人口減少・高齢化が進む中において、店舗・医療・福祉などの生活にかかすことのできないサービス施設を確保・集積し、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりを進めることが重要です。

施策展開

- ・コンパクトなまちづくりの推進
生活の利便性向上と持続可能なまちづくりのため、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりを進めていきます。
- ・町の資源を生かした新たな価値創出
豊富な自然資源等、個性や魅力を生かしながら、新たな価値を創出し、地域活性化に取り組みます。
- ・災害に強いまちづくり
町は急峻な地形が多いことから、防災・減災対策を充実させ、災害に強く安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。
- ・新たな市街地整備の検討
~~三吉野場末地区及び三吉野清坊地区の市街化区域編入に向けた協議を進めます。の市街化区域編入の可能性について検討し、関係機関と協議します。~~

コメントの追加 修正しました。

主な取組

- コンパクト・プラス・ネットワーク※の考え方に基づく都市づくりの推進 **重点**
- 三吉野場末地区及び三吉野清坊地区の市街化区域編入の市街化区域編入の可能性検討

※コンパクト・プラス・ネットワーク

人口減少・高齢化が進む中で、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携したコンパクトなまちをつくるという考え方

成果指標

指標名	現状値	令和11年度目標値
公共交通と連携したコンパクトなまちづくりに向けた検討	—	方針の決定
三吉野場末地区及び三吉野清坊地区の市街化区域編入の市街化区域編入の検討	—	編入決定方針の決定

個別計画

- 日の出町都市計画マスタープラン

SDGsの視点

- 9. 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 11. 住み続けられるまちづくりを

コメントの追加 修正しました

コメントの追加 修正しました。

4-3 住環境の充実【施策17】

目標とする姿

既存の住宅環境を良好に維持し、住みよい街並みが形成されています。

現状と課題、将来起こりうる課題

近年の自然災害の激化傾向に伴い、国土強靱化に向けた取組が進められています。町は急峻な地形が多いことから、町民の生命と財産を守るために、防災・減災対策の充実が必要となっています。

一方で、町内の住宅地等では、近年空き家や未利用地等が増加傾向にあり、これらの資源を有効に活用する、効率的なまちづくりが必要となっています。また、少子高齢化による人口減少や高齢者のみの世帯の増加を背景として、今後、空き家が更に増加することが予想されています。空き家の増加は景観、衛生、防犯等住環境の悪化や地域におけるコミュニティ活動に支障を来すおそれがあることから、適切な管理の促進とあわせて、既存住宅を空き家にしな

いたための発生予防が必要となっています。
また、町営住宅については、住民に対する住宅供給を継続するため、既存住宅の長寿命化を図るとともに、社会情勢の変化今後の人口減少を踏まえた適正な規模及び戸数の確保が求められます。

コメントの追加 修正しました。

施策展開

・木造住宅耐震化の支援充実

「耐震改修促進計画」に基づいた、耐震診断と耐震改修に係る費用の一部を補助します。また、ブロック塀についても、補助対象とすることを検討していきます。

・空き家対策の推進

管理が不十分な空き家に対する改善措置を行うとともに、空き家実態調査や定期的なパトロールを踏まえて、危険を察知し、必要な範囲で、管理不全空き家とする手続きを行います。また、空き家バンクについて、物件の登録数増加を目指すとともに、空き家にしな

・町営住宅の計画的な管理

「日の出町公営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な改修工事を実施し、長寿命化を図るとともに、高齢化や単身世帯の増加等、社会情勢の変化に対応できる住宅の確保に努めます。
~~人口減少を踏まえた戸数の確保について検討していきます。~~

コメントの追加 修正しました。

4-5 自然環境の保全と公園の整備【施策19】

目標とする姿

従来の生物多様性を保ち、従来から生息する生物の多様性を保ち、自然が持つ機能を活用することで、災害に強く緑豊かな町になっています。

コメントの追加 修正(「従来」と「から」の重複)の誤用

現状と課題、将来起こりうる課題

<自然環境>

町の総面積の大半は山林や農地であり、自然との触れ合いのある豊かな生活環境を有しています。環境保全推進のため、水質環境等の調査や不法投棄防止対策、環境意識の醸成を目的とした一斉清掃を毎年実施しているほか、町内3つの水系では、東京都及び町が治水対策や環境保全に取り組んでいます。

自然環境の保全には、動植物の多様性を保つ必要がある一方、特定外来生物や、近年住宅地における熊の目撃情報が多発しており、被害の拡大も懸念されます。町民の安全な生活を守るため、適切な対策を講じていく必要があります。

<公園・緑地>

都市公園は、緑豊かな住環境の形成はもとより、憩いの場、地域コミュニティの活動拠点機能など、様々な役割があります。公園の利用は、複合遊具が設置された比較的規模の大きな公園では多いですが、規模の小さな公園では少ない傾向にあります。

また、「野鳥の森自然公園」では、より多くの方に活用していただくため、園内の維持管理を適切に行うとともに、駐車場の整備が急務となっています。

施策展開

<自然環境>

・環境意識の醸成

環境を守る大切さを学ぶ取組などを通じて環境意識の醸成を図り、身近に感じられる豊かな自然をつぎの世代につなげていきます。

・特定外来生物及び熊対策

特定外来生物による被害防止対策に取り組みます。また、熊被害を未然に防ぐため、人の生活圏への出没防止に取り組むとともに、熊と共存していくため、住宅街に出没した個体については適切な対策を図り、安全な生活を確保します。

・河川環境の整備

河川は、洪水の防止、水質の保全、地域の自然景観の形成など多様な役割を担っています。近年の気候変動による集中豪雨や濁水などの影響を踏まえ、河川ごとの特性や機能に応じた維持管理により、安全で快適な生活環境の確保に努めます。

<公園・緑地>

・個性を活かした魅力ある公園の整備

<林業>

・地域材の高付加価値化による林業の活性化

森林環境譲与税の活用方法を検討しながら、計画的な森林整備と間伐の推進により森林の健全化を図るとともに、地域材の高付加価値化や新たな需要開拓を進めます。

・地球環境に配慮した林業の推進

林業開設事業や改良事業の実施による作業効率の向上、森林の多面的機能を活かす施策として、環境保全や防災機能の強化、担い手育成などを通じ、環境保全と収益性を両立した持続可能な林業を実現します。

主な取組

- 農業経営支援
- 町民農園の利用促進
- 特産物の普及・地域ブランド化
- 林道開設・改良
- 森林の多面的機能回復（森林再生事業）

重点

コメントの追加「重点」追加しました。

成果指標

指標名	現状値	令和11年度目標値
担い手への農地集積面積	(R6) 8.3ha	9ha
町民農園貸出率	(R6) 80%	95%以上
新たな特産品の販売数	(R6) —	2品目
林道の延長	(R6) 34.9km	35.8km
森林再生事業施業面積	(R6) 223.8ha	250ha

個別計画

- 日の出町農業振興基本計画
- 日の出町農業振興地域整備計画
- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）
- 日の出町森林整備計画
- 日の出町林道施設長寿命化計画

SDGsの視点

- 2. 飢餓をゼロに
- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 15. 陸の豊かさも守ろう

5-2 商工業の振興【施策25】

目標とする姿

訪れる人が活気のある街並みを楽しんでいます。

現状と課題、将来起こりうる課題

2021年経済センサス活動調査によると、町の年間商品販売額は2012年と比較し上昇傾向にありますが、事業所数は2016年から減少しています。

町内事業者へ行ったアンケートでは、事業承継に当たり現状後継者がいないと回答した事業者が多く、事業所代表者の高齢化もみられることから、事業所減少が今後も続き、町内の働く場所が減少する恐れがある一方、工業事業者は人手不足であると回答しています。

デジタル化やキャッシュレス対応等、時代の変化への対応が遅れている事業者も多く、今後は事業承継への支援とともに、企業の誘致など新たな活力を生み出す取組も求められます。
~~や人材確保・育成などの事業維持の取組とともに、デジタル化への対応等、競争力を強化する取組も求められます。~~

また、近年のインターネットやスマートフォンの普及に伴う消費詐欺、契約をめぐる消費者被害は高齢者のみならず若年層もターゲットとなっていることから、幅広い普及啓発に努める必要があります。

施策展開

・事業承継への支援

中小企業の人手不足や事業承継の問題等が予想されることから、各事業所に対する情報提供を行いながら、問題を抱える事業所に対して環境整備も行っていきます。

・起業・創業に取り組む人への支援

新規事業者を増やすため、創業者向けのサポートとして、金融機関と協力し、創業者に対するセミナーの実施や経営相談の体制を整える等、創業しやすい環境を整えています。

また、令和5年度には町内で創業する方に対し補助金を交付する「日の出町創業支援補助金」を創設し、町内の創業者増加のための事業展開を行っており、今後も支援体制を充実させていきます。

・企業誘致の推進

町の立地特性や地域資源をいかした企業誘致を推進するため、新たな支援制度を導入し、地域経済の活性化と雇用の創出を図ります。

・消費者被害の未然防止対策の推進

消費者被害は広範囲の世代に渡り発生し、被害内容も多様化していることから、セミナーや情報発信方法を工夫し、より広い世代に対してアプローチできるよう努め、町内で安心して買い物ができる環境構築を図ります。

コメントの追加 修正しました。

コメントの追加 追加しました。

主な取組

- 中小企業の振興
- 創業支援の充実 **重点**
- ひのでちゃん行政カードの見直し・検討
- ひので匠・逸品運動の推進
- 企業誘致支援制度の導入 **重点**
- 消費者行政の推進

コメントの追加 追加しました。

成果指標

指標名	現状値	令和11年度目標値
商店数	(R6) 255 店	255 店
商工業者数（総数）	(R6) 630 者	630 者
創業支援補助金交付数（年間）	(R6) 3 件	4 件
消費生活講座参加者数	(R6) 12 人	40 人

個別計画

- 日の出町商工観光振興計画

SDGsの視点

- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 12. つくる責任、つかう責任

主な取組

- 観光情報の発信・イベント情報の充実
- 各種団体との連携強化
- フィルムコミッションによる地域の魅力向上・発信
- 観光施設管理・運営事業強化 **重点**

成果指標

指標名	現状値	令和11年度目標値
観光客数	(R6) 364,000人	400,400人
ロケ受入件数	(R6) 53件	70件

個別計画

- 日の出町商工観光振興計画

SDGsの視点

8. 働きがいも経済成長も

[12. つくる責任、つかう責任](#)

コメントの追加 追加しました。

6-2 広域行政・広域連携の推進【施策28】

目標とする姿

広域行政・広域連携により行政サービスの効率化と質の向上が図られています。

現状と課題、将来起こりうる課題

町は、近隣市町村と連携し、様々な行政サービスを共同で行っています。西多摩地域の8市町村では、西多摩地域広域行政圏協議会を組織し、西多摩地域が連携・協調して一体的な発展と住民の福祉増進を図るため、各種事業を実施しています。また、秋川流域の3市町村では、秋川流域の開発振興や諸問題の解決のため、秋川流域開発振興協議会を組織しています。

さらに、広域的な行政ニーズに対応するため、西秋川衛生組合、阿伎留病院企業団、秋川流域斎場組合などの一部事務組合により、事業の効率的な実施に取り組んでいるほか、新島村との友好町村盟約に基づき、教育、産業分野など多分野で交流を図り、相互の発展につながる事業を実施しています。

今後、人口減少、少子高齢化が進む中においても、高度化・多様化する住民ニーズや行政課題に対応していくため、近隣市町村等と連携を強化し、地域経済の活性化や住民サービスの向上につなげていくことが求められます。

施策展開

〈広域行政の連携強化〉

- ・西多摩地域広域行政圏協議会等広域的組織の連携の強化

広域的な行政ニーズに柔軟かつ効率的に対応するため、西多摩地域広域行政圏協議会や秋川流域開発振興協議会などの広域的組織を通じて、自治体間の連携を強化します。

- ・一部事務組合等による連携の強化

広域的な行政ニーズに対応するため、西秋川衛生組合、阿伎留病院企業団、秋川流域斎場組合などの一部事務組合等への参画を通じて、自治体間の連携を強化します。

〈広域連携の推進〉

- ・関係自治体との連携

西多摩医療圏の公立病院の連携強化、広域的な観光ネットワークの構築、JR五日市線の利便性の向上や輸送力の強化、環境の保全など、特定の行政課題に対応するため、関係自治体との連携の維持・強化に取り組むほか、人口減少を踏まえた公共施設の共同設置を進めていきます。

- ・[姉妹（友好）都市友好町村](#)との交流の充実

友好町村の新島村との交流をさらに深め、住民同士の交流や産業分野での協力など、相互の発展につながる事業を推進していきます。[さらに、新たな国内外の姉妹（友好）都市提携により、異文化交流、多文化共生を推進し、地域の活性化につなげていきます。](#)

コメントの追加 修正しました。

主な取組

- 西多摩地域広域行政圏協議会等との広域的連携強化 **重点**
- 友好町村新島村との交流の充実及び国内外の姉妹（友好）都市提携の推進
- 新学校給食センターの建設・運営の準備（あきる野市との共同設置） **重点**

コメントの追加 修正しました。

成果指標

指標名	現状値	令和11年度目標値
広域連携事業数	(R6) 8件	11件
姉妹（友好）都市提携数 友好町村新島村との交流事業数	21件	2件
あきる野市・日の出町新学校給食センター建設（再掲）	0%	100%

コメントの追加 修正しました。

個別計画

- あきる野市・日の出町新学校給食センター共同整備・運営方針（実施計画）

SDGsの視点

- 10. 人や国の不平等をなくそう
- 17. パートナーシップで目標を達成しよう

6-3 自立した自治体経営の推進【施策 29】

目標とする姿

持続可能な財政基盤を確立し、町の将来像に近づいています。

現状と課題、将来起こりうる課題

町の財政状況は、これまでの行政改革等の結果、基金残高の拡充や町債残高の減少など、概ね健全な状態を維持できています。しかし、経常収支比率は依然として高く、既存の事業や公共施設を維持したまま新たな社会需要に対応することは困難な状況です。また、人口減少をはじめとする日本が抱える構造的な問題に目を向けると、税収の減少や、現状の職員体制では対応できない行政課題や財政需要が数多く見込まれます。このことから、今後はさらなる民間活力の活用や、重点施策へ優先的に予算を配分するなど、組織の体制や既存事業を再構築し、縮減社会に適応した行財政運営へ転換を図っていくことが必要です。

さらに、人口が減少しても、地域特性に応じた産業にチャレンジする人や、得意分野を活かして楽しみながらまちづくりに関わる人たちが集うことで、活気と魅力あふれる町を実現していくことが重要です。

施策展開

・健全な財政運営の実現

人口が減少していく中においても、新たな歳入の確保に積極的に取り組むとともに、~~縮減社会にあって新たな財源の確保は困難な状況です。~~財政運営の基本に立ち返り、収入を正しく見積もり、それに応じた賢い支出計画を立てることで、不確実な時代にあっても健全な財政運営を実現していきます。また、財政状況について、経営課題を客観的に認識・評価できるよう、正確な情報提供を行います。

コメントの追加 修正しました。

・変化に強い組織づくり

職員の仕事と育児・介護を両立するため、人材の育成、業務効率化や柔軟な働き方を推進し、必要な人材確保に取り組むとともに、社会情勢の変化や行政需要に柔軟に対応した組織の改編を継続していきます。

・公共施設の再編

公共施設は、現在その半数以上が建設から30年以上を経過しており、老朽化した施設が急増していきます。今後の財政状況や人口減少を踏まえ、既存施設の維持だけでなく、施設の複合化など、施設が持つ機能の維持に視点を転換し、これまでの考え方にとらわれない施設の再編を進めていきます検討します。

コメントの追加 修正しました。

・多様な主体と連携した移住定住促進・関係人口の創出

持続可能で活気と魅力あふれるまちづくりに向け、東京都や近隣市町村、民間企業など多様な主体と連携し、移住定住促進・関係人口の創出に取り組みます。

主な取組

- 新たな人材育成基本方針に基づく人事評価・研修の推進及び人材確保
- 仕事と生活の両立支援の推進
- 行政改革・行政評価の推進
- 公共施設の適正化
- 移住定住相談体制の強化・関係人口の創出 **重点**

成果指標

指標名	現状値	令和11年度目標値
経常収支比率	97.9%	95%以下
各施策の目標値の達成率	—	75.0%
職員1人あたりの研修参加回数	2.2回	3回
「住みやすいまち」と感じる人の割合※	高校生世代 73.9% その他 65.9%	高校生世代 80.0% その他 70.0%
「住み続けたい」と思う人の割合※	高校生世代 47.8% その他 83.3%	高校生世代 55.0% その他 85.0%
移住・定住の相談件数	(R6) 6件	30件
ふるさと納税寄附者数	11件	1,000件 100件

※住みやすい・どちらかと言えば住みやすいと回答した割合

※住み続けたい・どちらかと言えば住み続けたいと回答した割合

コメントの追加 修正しました。

個別計画

- 日の出町公共施設等総合管理計画（ガイドライン）
- 日の出町公共施設等長期保全計画（ロードマップ）
- 日の出町 **人材育成・確保基本方針** ~~人材育成基本方針~~
- 日の出町特定事業主行動計画
- 日の出町財政計画・定員管理計画

コメントの追加 修正(職員係へ確認) 1月6日修正

SDGsの視点

- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 16. 平和と公正をすべての人に